

証券コード 2270

個人投資家様向け 会社説明会



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

2016年7月

目次

- 1 会社概要・沿革
- 2 事業内容
- 3 中期経営計画&業績の状況
- 4 平成28年度の主な取組み
- 5 株主・投資家のみなさまへ

会社概要・沿革

2

会社概要

1	商号	雪印メグミルク株式会社 MEGMILK SNOW BRAND Co.,Ltd.
2	設立年月日	平成21年10月1日
3	本店所在地	(本社) 東京都新宿区本塩町13番地 (登記上本店) 北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号
4	資本金	200億円
5	従業員数	4,823名 (連結、平成28年3月31日)
6	上場取引所	東京証券取引所、札幌証券取引所
7	代表取締役社長	西尾 啓治



3

沿革① 創立と商品の歴史

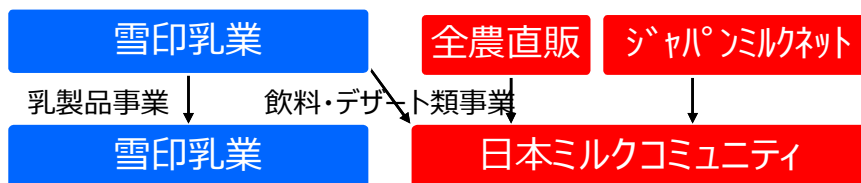
- 大正14年 (1925年) 「北海道製酪販売組合」創立 バター製造を開始
- 昭和25年 (1950年) 雪印乳業(株) 発足
- 昭和29年 (1954年) 「雪印6Pチーズ」発売開始
- 昭和37年 (1962年) 「雪印スライスチーズ」発売開始
- 昭和43年 (1968年) 「雪印ネオマーガリンソフト」発売開始
- 昭和54年 (1979年) 「雪印ナチュレ(プレーンヨーグルト)」発売開始
- 昭和55年 (1980年) 「雪印ストリングチーズ(現さけるチーズ)」発売開始
- 平成5年 (1993年) 「雪印毎日骨太(乳飲料)」発売開始
- 平成19年 (2007年) 「雪印北海道100ブランド」立ち上げ
- 平成26年 (2014年) 「雪印メグミルク牛乳」発売開始



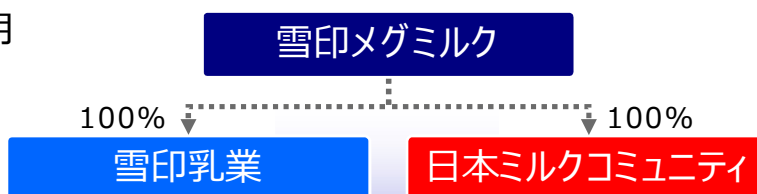
沿革② 2つの事件

- 平成12年6月 雪印乳業食中毒事件
- 平成14年1月 雪印食品牛肉偽装事件

平成15年1月
事業分割



平成21年10月
経営統合



平成23年4月
合併



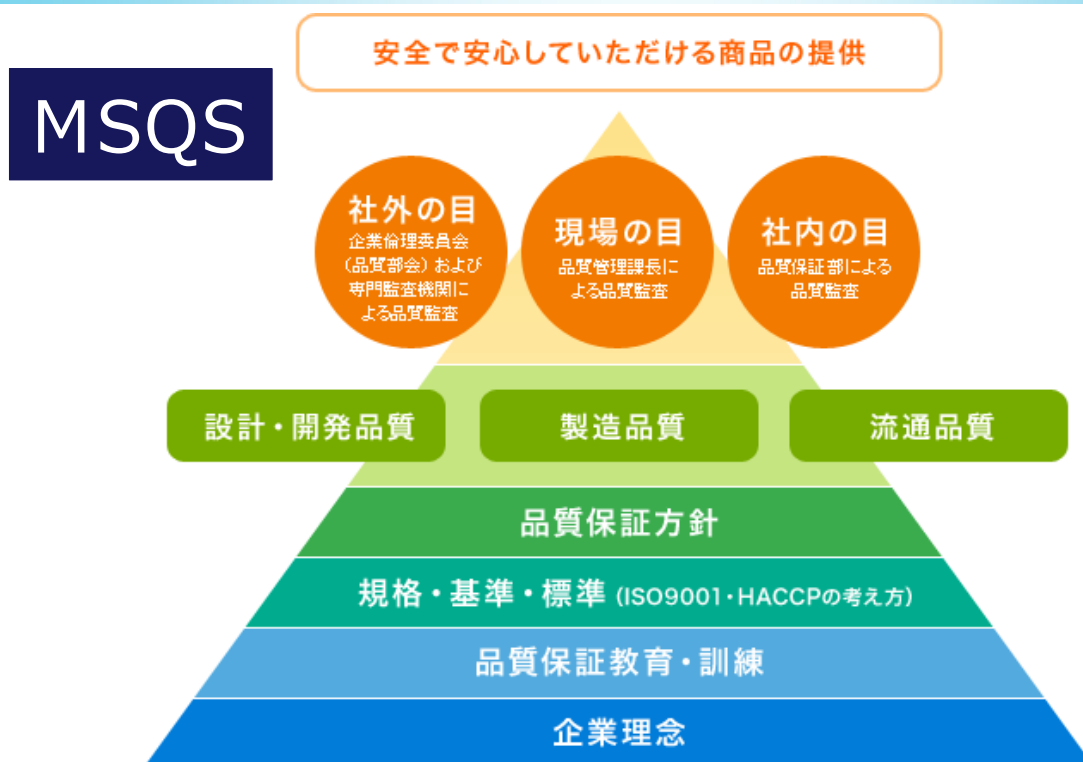
2つの事件を受けて①

食の責任を強く認識し、果たしていくことを誓う日の活動 ～雪印の事件を風化させない～

- 毎年、2つの事件が発生した6月と1月に実施しています。
- 社外有識者による講演、品質に関する理解度テストの実施、食中毒事件当時の報道番組の視聴などを実施してきました。
- 今年の6月は、事件経験者に加え、未経験者も含めたパネリストによる討論、会場の役員を含めた参加者同士（2～3名）による意見交換を行いました。また、活動内容は動画におさめて、全社で共有されました。

6

2つの事件を受けて②



雪印メグミルク品質保証システム（MSQS）の概念図

7

2つの事件を受けて③

企業倫理委員会

3つの専門部会



品質部会

消費者部会

表示部会

8

企業理念

私たちの使命

消費者重視
経営の実践

酪農生産
への貢献

乳(ミルク)に
こだわる

コーポレートスローガン

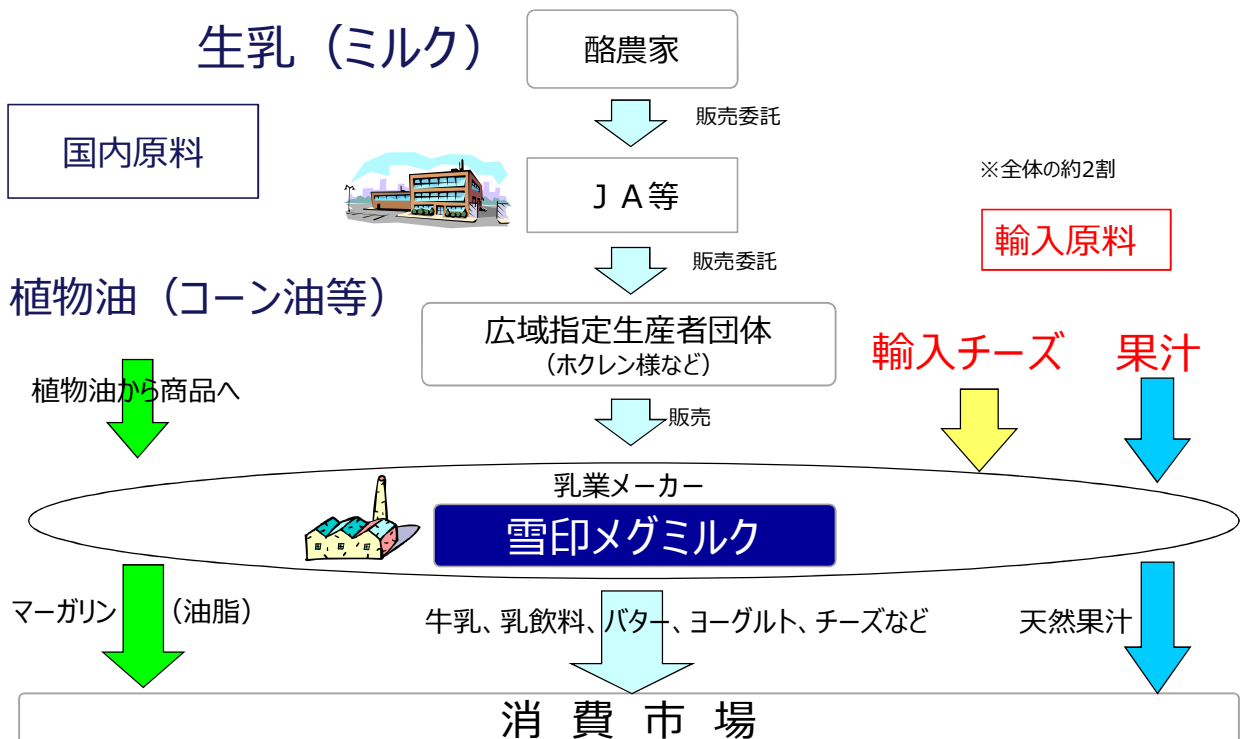
未来は、ミルクの中にある。

9

事業内容

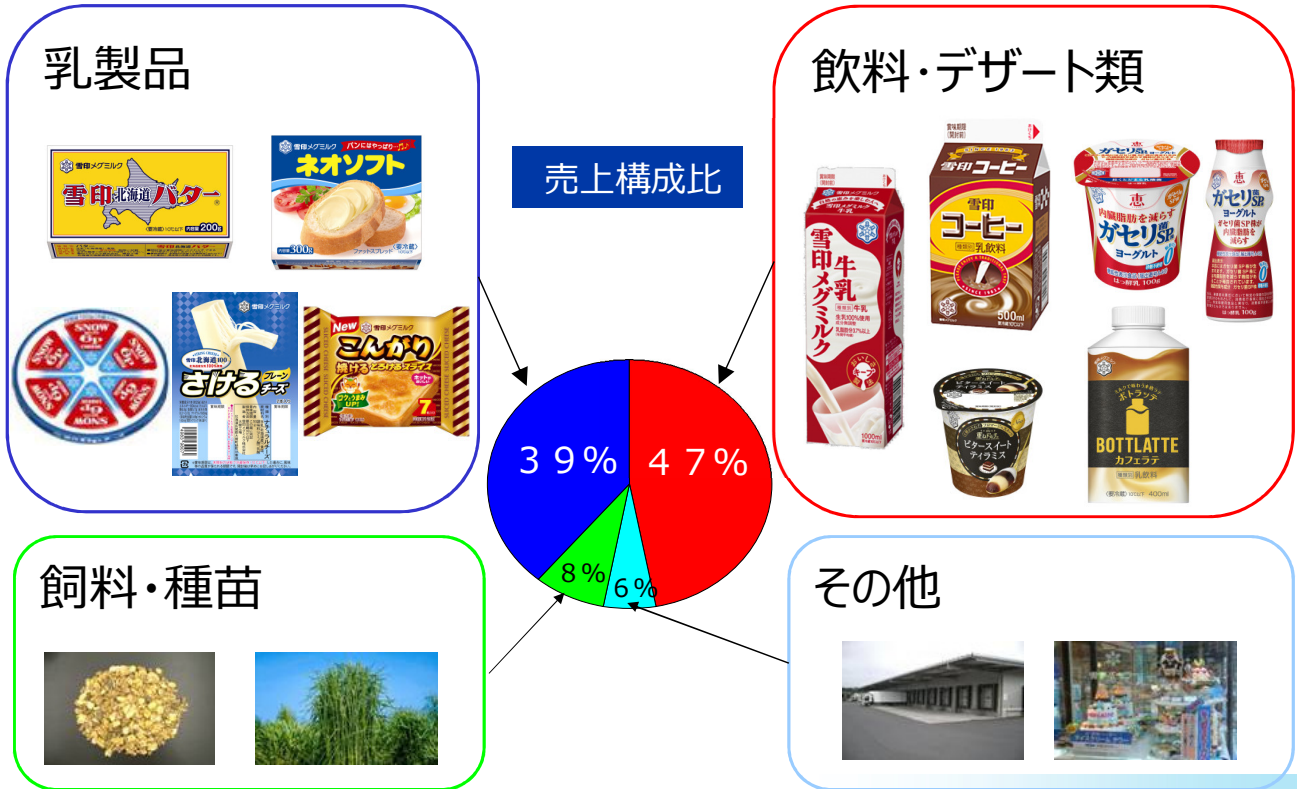
10

事業のしくみ（概要）



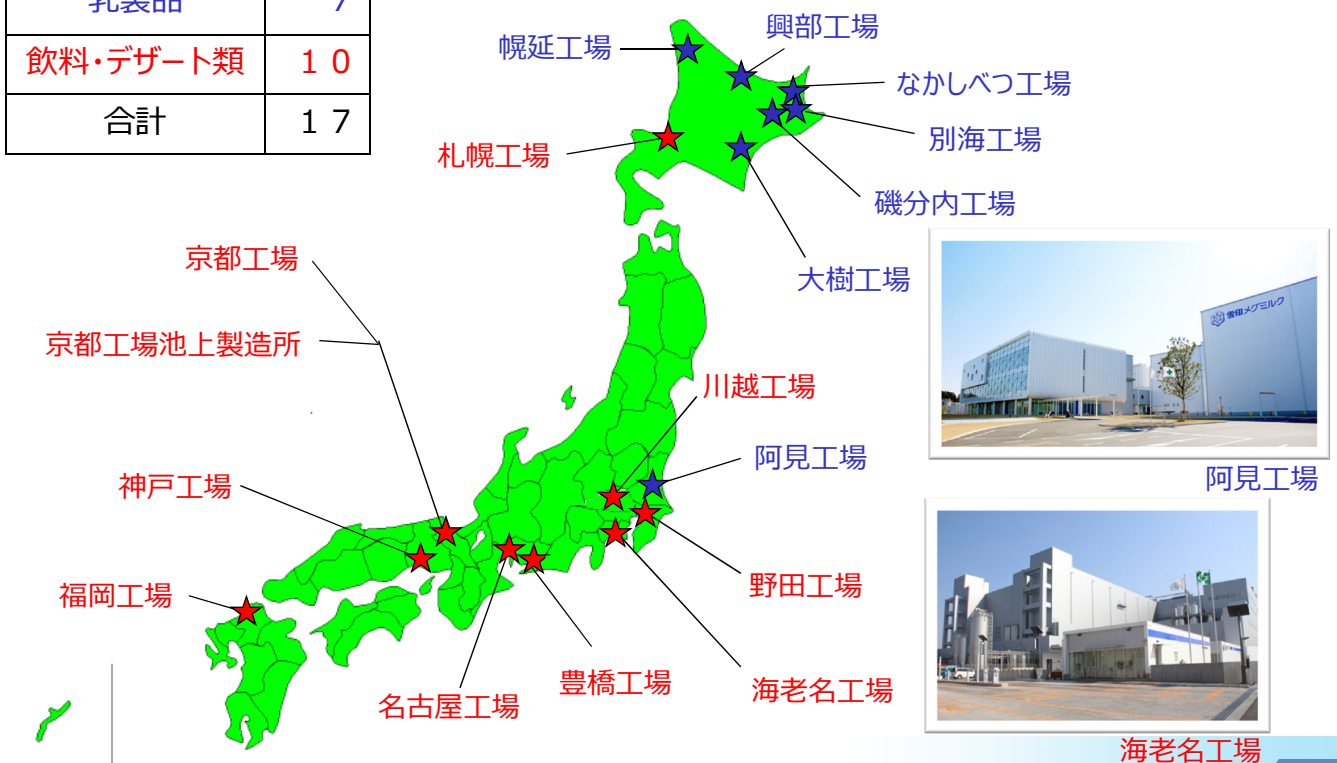
11

セグメント



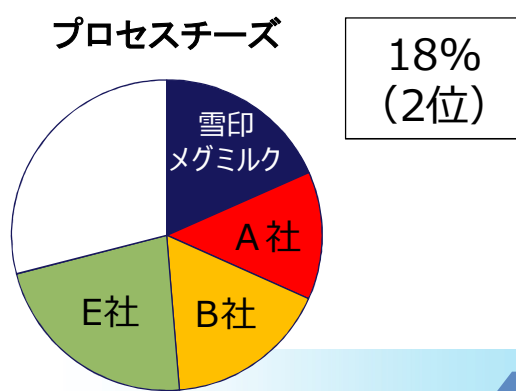
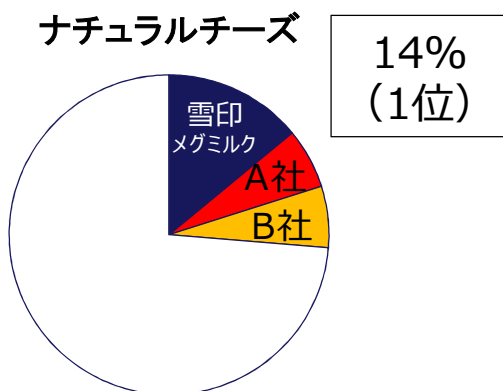
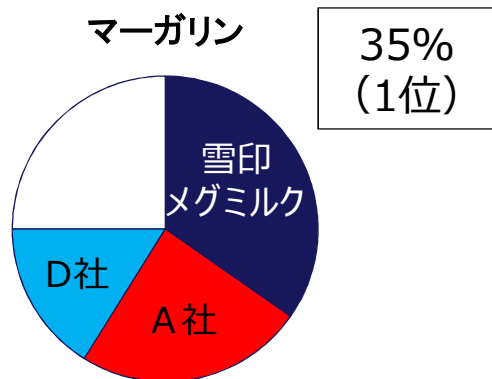
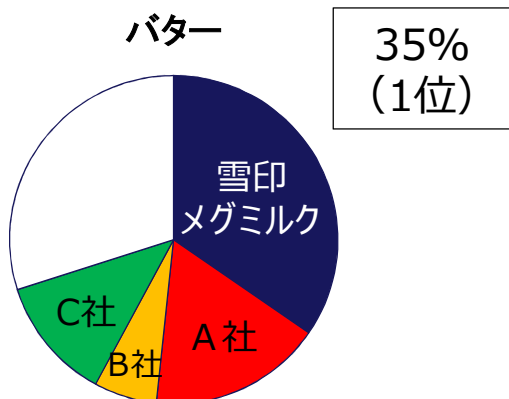
当社直営工場配置図

乳製品	7
飲料・デザート類	10
合計	17



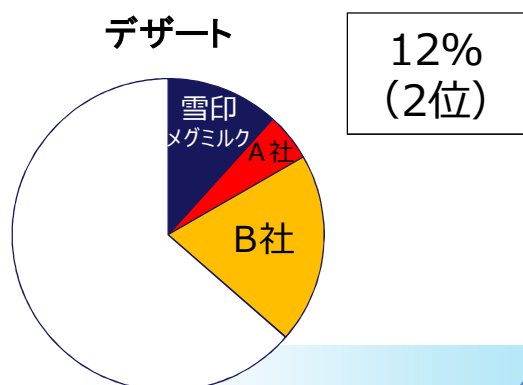
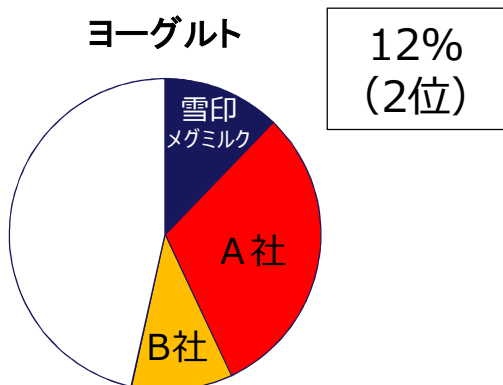
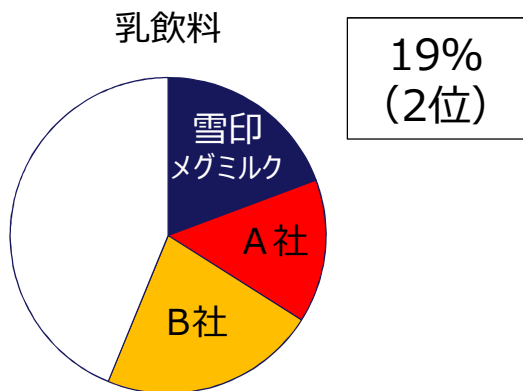
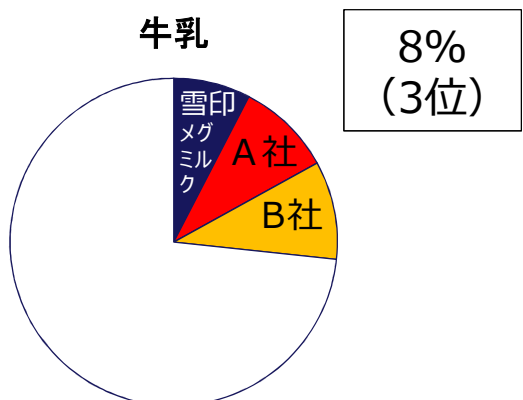
家庭用主要商品群シェア①

乳製品



家庭用主要商品群シェア②

飲料・デザート類



乳飲料



ヨーグルト



ナチュラルチーズ



プロセスチーズ



研究開発①

乳（ミルク）にこだわる

「乳」に関する研究開発を

「おいしさ」と「機能性」

の両面で実施しています！

さけるチーズ



こんがり焼ける
とろけるスライス



ガセリ菌 S P 株



M B P ®



研究開発②

さけるチーズ

「さけるチーズ」が、きれいに気持ちよく“さける”のは、チーズ中のたんぱく質が完全には分解されずに、ほどよく残った状態にして、それを伸ばして冷やすからなのです！



たまらなくクセになる食感！その秘密は、繊維状の組織です。

18

研究開発③

こんがり焼ける とろけるスライス



おいしい

こんがり焼けて
おいしそう



焼けたチーズ
が香ばしい



3感を刺激
味覚だけでなく、
視覚、嗅覚からも、おいしさを実感

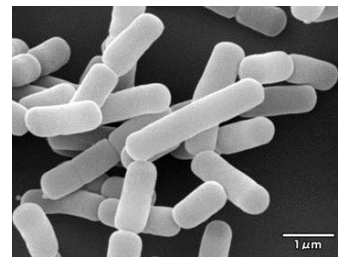
19

研究開発④

ガセリ菌S P株①

【主な学会発表】

- 2012.09.28 内臓脂肪蓄積抑制作用について
- 2012.10.16 歯周病に対する抗炎症作用について
- 2012.10.24 免疫系の活性化とストレス軽減効果について
- 2012.12.05 インフルエンザウィルスに対する感染予防効果について
- 2013.06.05 線虫の寿命延長とその作用機構について
- 2014.10.16 インフルエンザウィルスの感染予防効果メカニズム解明について
- 2015.07.12 ヒト試験で脂質排出作用を確認
- 2016.05.15 エネルギー消費量増加作用を確認



【機能性表示食品として受理】

- 2015.05.25届出 ガセリ菌S P株ヨーグルト3品
- 2015.06.15届出 ガセリ菌S P株ヨーグルト1品
- 2016.04.19届出 ガセリ菌S P株ヨーグルト（宅配専用）2品

20

研究開発⑤

ガセリ菌S P株②

“ガセリ菌S P株が内臓脂肪を減らす”

乳酸菌での確認は、世界初！

機能性表示食品の届出が受理された
ガセリ菌S P株ヨーグルト4品



(ドリンクタイプ)



(個食タイプ)



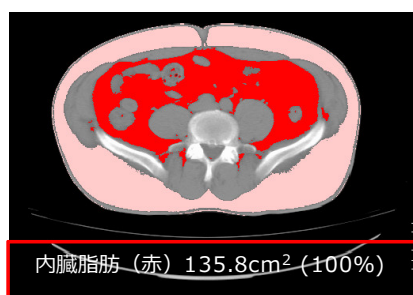
(アロエ)



(豆乳仕立て)

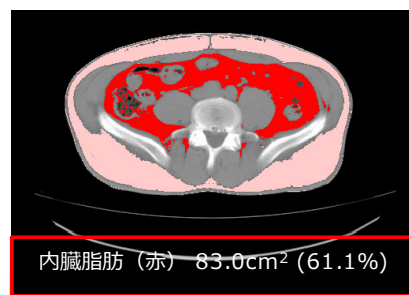
摂取前後の腹部断面積

ガセリ菌SP株が入った
ヨーグルト摂取前



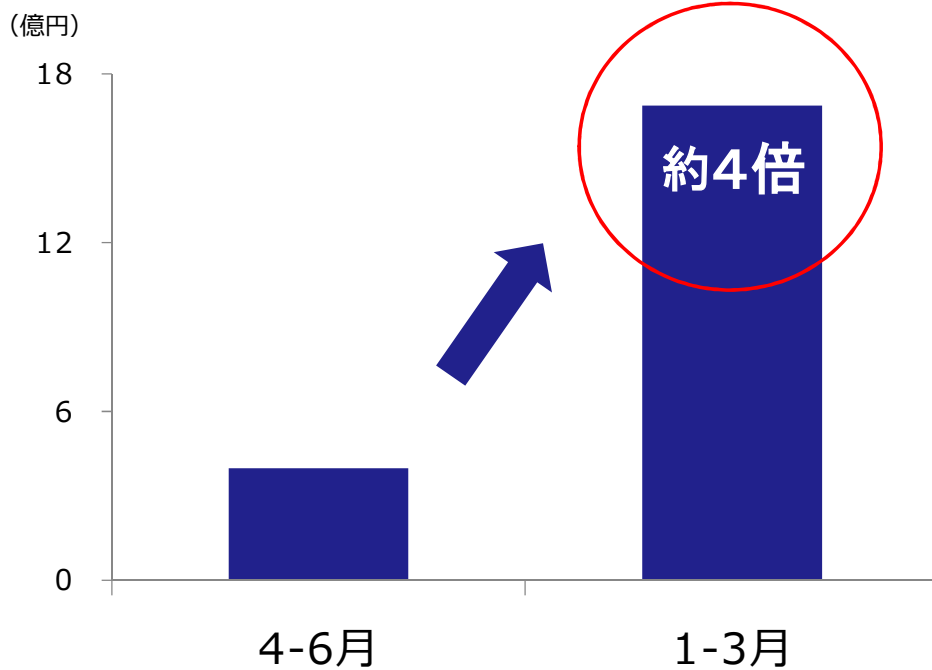
もっとも効果のあった
被験者のCT

ガセリ菌SP株が入った
ヨーグルト摂取12週間後



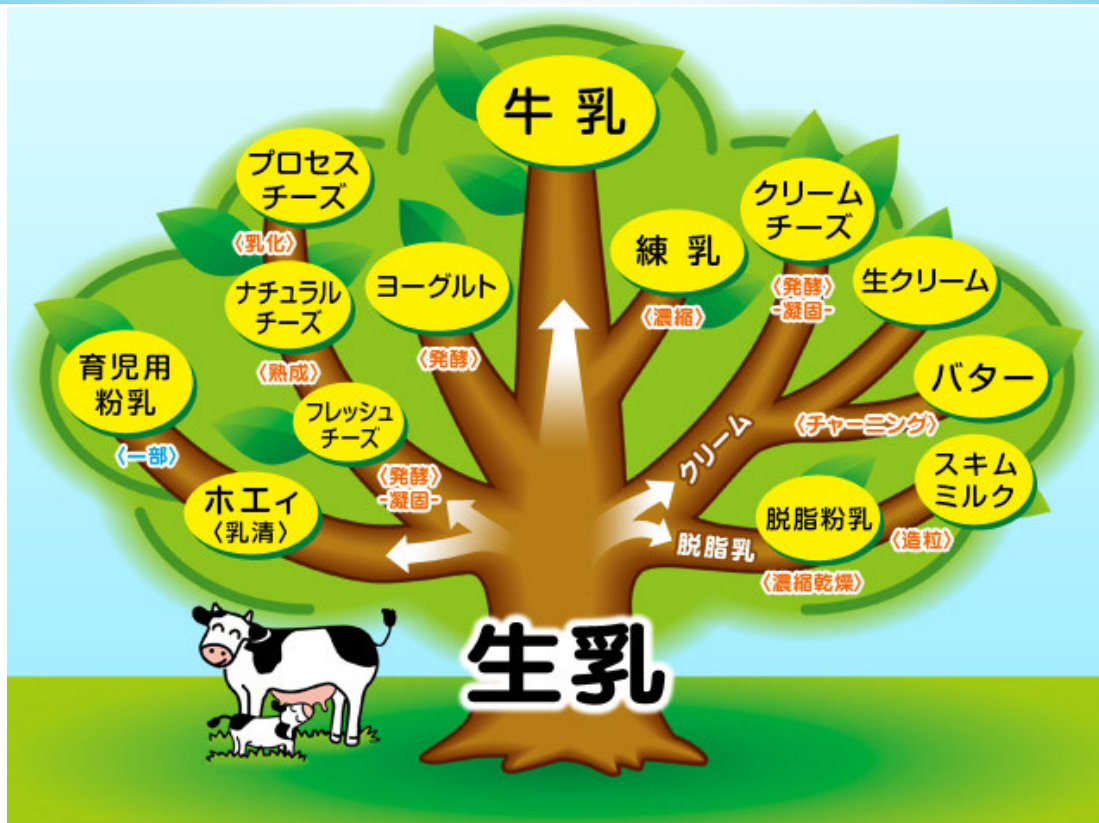
21

機能性表示食品 4 品の売上高比較



平成27年度

ミルクの木



中期経営計画 & 業績の状況

24

中期経営計画（平成26年度～平成28年度）

平成28年度目標数値

連結営業利益
130～150億円

連結EBITDA
310～330億円

戦略の柱

- (1) 事業構造改革
- (2) 戦略投資設備の最大活用
- (3) 成長分野の事業拡大
- (4) 機能強化と体制整備

25

平成28年3月期（27年度）連結業績①

1. 経営成績

(億円、%)

項目	平成27年 3月期	平成28年 3月期	増減額	前期比
売上高	5,498	5,783	+285	105.2
営業利益	93	140	+46	149.3
経常利益	104	142	+37	136.2
当期純利益※	39	150	+111	382.7

平成28年 3月期 業績予想	予想比
5,750	100.6
125	112.0
125	113.8
145	103.8

2. セグメント別

※親会社株主に帰属する当期純利益

(億円、%)

項目	乳製品		飲料・デザート類		飼料・種苗		その他	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売上高	2,269	106.5	2,694	105.4	459	96.8	360	106.7
営業利益	94	101.6	22	+	8	78.3	13	218.6

3. 配当

普通配当 30円

26

平成28年3月期（27年度）連結業績②

利益増減要因の内訳〔連結営業利益〕

前期	当期	増減額
93	140	+46

(億円)

増益要因 合計	+151
販売単価差	+84
販売物量増加による利益増	+26
製品構成差	+22
コストダウン	+19

減益要因 合計	△105
宣伝促進費の増加	△38
乳価差	△32
ロジスティクス費用の増加	△17
資材単価差等	△12
その他	△6

27

平成28年3月期（27年度）連結業績③

利益増減要因の内訳〔連結経常利益以下〕

(億円)

項目	前期	当期	増減額	主な増減要因
営業利益	93	140	+46	
営業外損益	+10	+2	△8	・為替差損益△14
経常利益	104	142	+37	
特別損益	△30	+80	+110	・関係会社事業損失 △6 ・固定資産売却益 +115
税引前利益	73	222	+148	
当期純利益※	39	150	+111	

※親会社株主に帰属する当期純利益

平成28年度の 主な取組み

平成28年度の取組み①

ヨーグルト①

「ガセリ菌SP株ヨーグルト ドリンクタイプ」の生産能力拡大

- ✓ 投資額 13.5億円
- ✓ 平成28年8月より新ライン本格稼働予定
- ✓ 1日あたりの生産能力が2倍に拡大



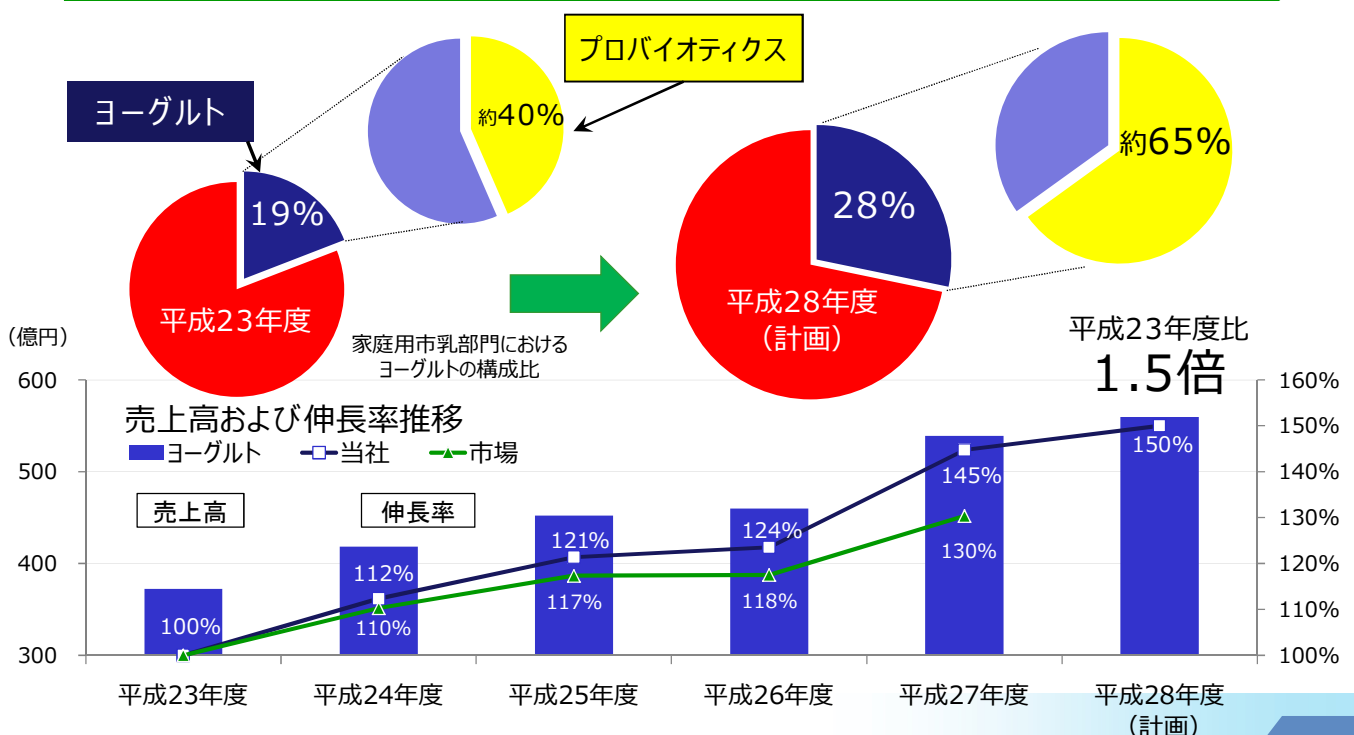
「ガセリ菌SP株ヨーグルト ドリンクタイプ」
平成28年度（販売計画） 前期比 2倍

30

平成28年度の取組み②

ヨーグルト②

高付加価値商品の販売拡大による「プロダクトミックスの改善」



31

平成28年度の取組み③

事業構造改革

飲料・デザート類セグメントの営業利益推移

大幅な黒字化の達成

- ✓ 機能性表示食品制度の活用
- ✓ プロダクトミックスの改善



厳しい経営環境

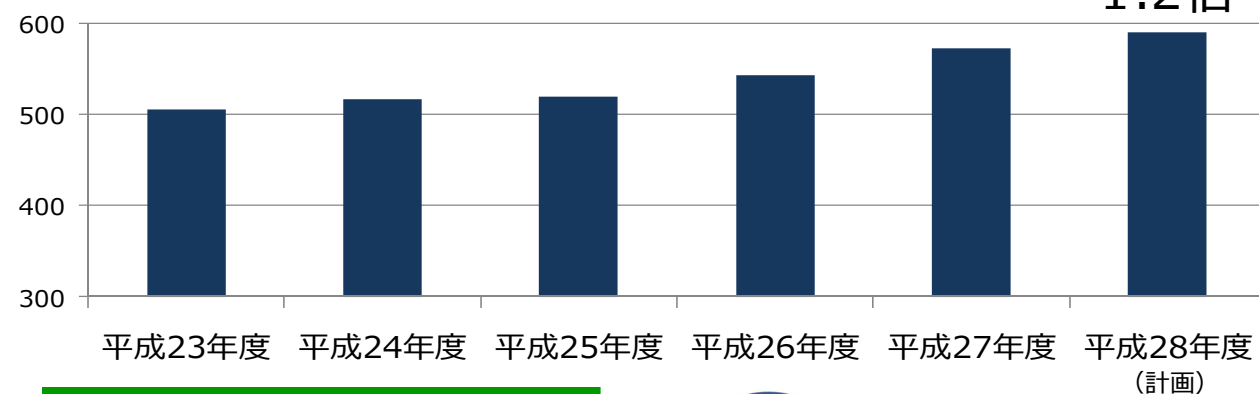
- ✓ 大幅なコストアップ
- ✓ 競争費用の増加

平成28年度の取組み④

チーズ

チーズ (家庭用) の売上高推移

平成23年度比
1.2倍



戦略投資設備の最大活用

- ✓ 阿見工場の最大活用

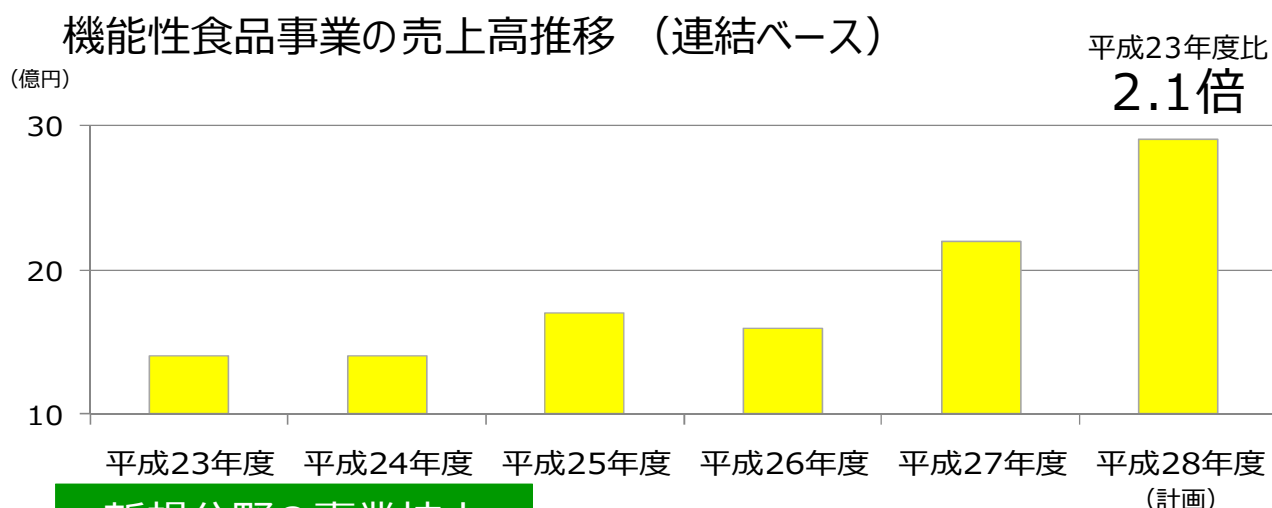
成長分野の事業拡大

- ✓ 「さけるチーズ」「カマンベールチーズ」を中心とした売上拡大



平成28年度の取組み⑤

機能性食品事業



新規分野の事業拡大

- ✓ 積極的なマーケティング投資の実施
- ✓ 通販チャネルの強化
- ✓ 機能性素材の活用



平成28年度の取組み⑥

海外事業

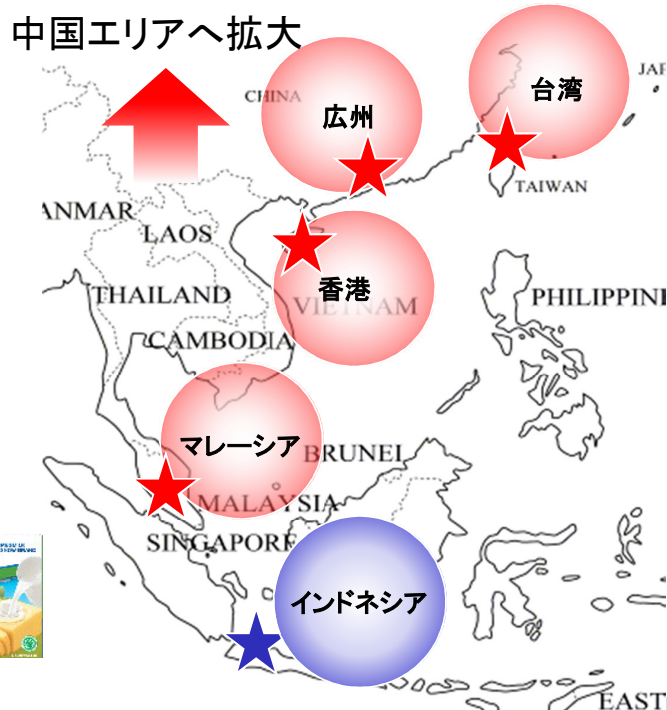
➤ 粉ミルク事業 (中国・東南アジア)



➤ プロセスチーズ事業 (インドネシア)



中国エリアへ拡大



平成29年3月期（28年度）連結業績予想①

1. 経営成績

(億円、%) 3. 配当

項目	平成28年 3月期	平成29年 3月期予想	増減額	前期比
売上高	5,783	5,900	+116	102.0
営業利益	140	150	+10	107.1
経常利益	142	155	+12	109.0
当期純利益※	150	95	△55	63.1

普通配当 30円

2. セグメント別

※親会社株主に帰属する当期純利益

(億円、%)

項目	乳製品		飲料・デザート類		飼料・種苗		その他	
	業績予想	前期比	業績予想	前期比	業績予想	前期比	業績予想	前期比
売上高	2,347	103.4	2,736	101.6	467	101.6	350	97.2
営業利益	106	112.1	23	100.1	10	116.2	11	82.9

36

平成29年3月期（28年度）連結業績予想②

連結営業利益の増減要因

前期	業績予想	増減額
140	150	+10

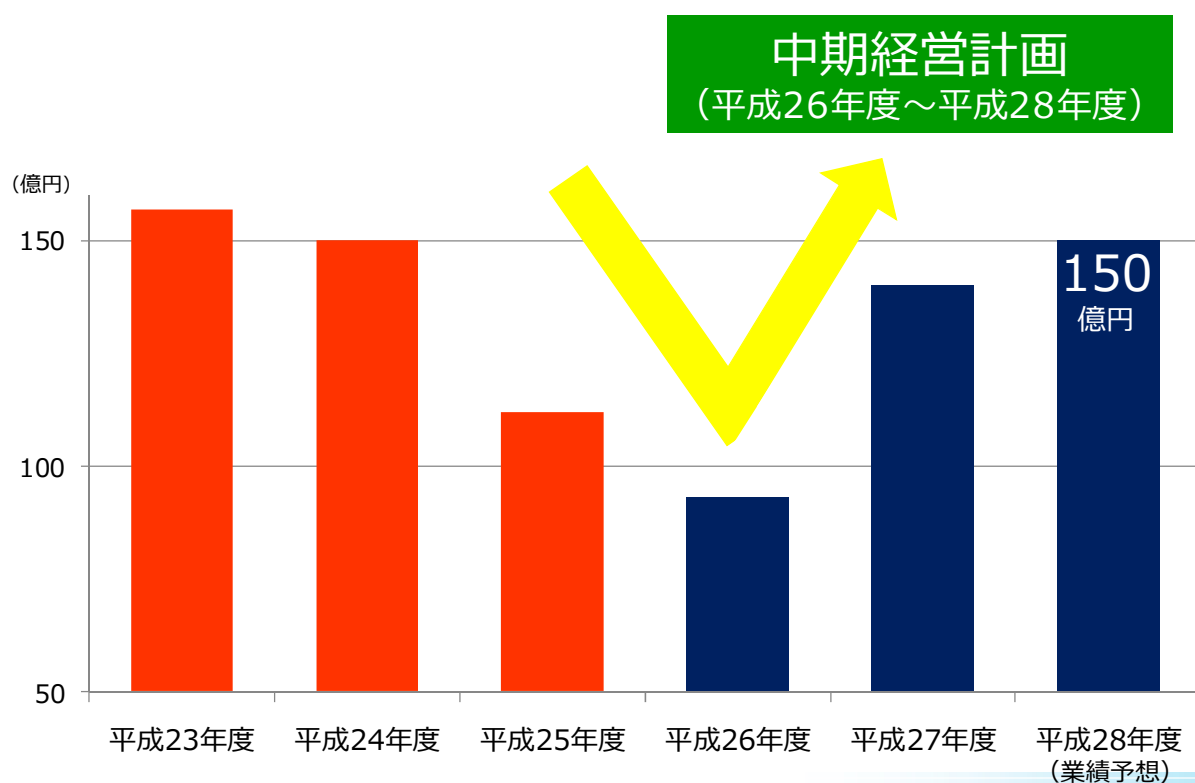
(億円)

増益要因 合計	+55
販売物量増加による利益増	+30
製品構成差	+25

減益要因 合計	△45
減価償却費の増加	△15
宣伝促進費の増加	△14
固定費の増加	△7
資材単価差等	△6
その他	△3

37

連結営業利益の推移



株主・投資家のみなさまへ

社会貢献活動①

酪農と乳の歴史館（札幌市東区苗穂町）

- 日本の酪農、乳業の発展の歴史をお伝えします。
- 平成16年に北海道遺産に、館内の史料は平成21年に国の近代化産業遺産に登録されています。
- 毎年約2万人の見学者をお迎えしています。



↑勝源(カツゲン)神社



北海道のロングセラー商品
「ソフトカツゲン」 →

～ 見学のご案内 ～

☆予約制 011-704-2329

(電話受付 9:00～17:00)

☆無料です。

☆土・日・祝祭日はお休みです。

社会貢献活動②

スキージャンプ部の活動を通じたスポーツ振興



原田 当社スキー部 監督

岡部 当社スキー部 コーチ


2013年2月に新医薬品工場を設立し、供給体制を整備。



株主・投資家のみなさまに①

当社ホームページのご紹介

おいしく楽しも〜! 乳レシピ



雪印メグミルクのお料理レシピ

雪印メグミルク 検索 クリック

<http://www.meg-snow.com/>



6Pチーズの磯辺焼きなど
たくさんのメニューを紹介!

牛乳パック工作も
いろいろ紹介!
新作もアップしました。

牛乳パックで
作ろう!

90種以上の
工作作品が
あるよ!

IRサイトも、ぜひご覧ください!

IR (株主・投資家情報)

個人投資家の皆さまへ
ひと目でわかる
「雪印メグミルク」

株主・投資家のみなさまに②

株主還元の基本方針

連結配当性向20%以上を目指します。

情報開示の基本方針

お客様・消費者、株主をはじめとするすべてのステークホルダーの信頼が得られるように、正確な企業情報を適時に開示し、透明性のある経営を実践いたします。



未来は、ミルクの中にある。

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合があります。また、業績予想に関する数値等は、今後予告なしに変更されることがありますので、予めご承知おきください。